注３：令和７／８年インバウンド需要量（推計値）は、訪日外国人数を政府目標（2030年に6,000万人）に向かって増加すると仮定した場合の当該期間の訪日人数に、令和６／７年の１人当たりの平均泊数、米食回数を１泊当たり２回及び１食あたり78ｇ（ＦＡＯ供給熱量データに基づき推定）を乗じて算出した値。

③　精米歩留りの変動を考慮し、需要見通し（玄米ベース）を算出

精米歩留り	
２年産	89.7%
３年産	90.3%
４年産	90.0%
５年産	88.6%
６年産	89.2%
５年平均	89.6%

注：精米歩留りは、「精米歩留りの状況調査（令和７年６月末時点）」の値である。

		令和７／８年	
		下限値	上限値
令和７／８年需要見通し（精米）	①	624.0万精米トン	630.6万精米トン
令和６年産精米歩留り（令和７年７月～令和７年８月）	②	89.2%	89.2%
令和７年産精米歩留り（見込み）（令和７年９月～令和８年６月）	②[注1]	89.6%	88.6%
令和７／８年需要見通し（玄米）	③＝①÷②[注2]	697.2万玄米トン	710.9万玄米トン

注１：令和７年産精米歩留り（見込み）の下限値には、直近５年平均の値、上限値には、直近５年最小値の値を用いる。

注２：令和７／８年需要見通し（玄米）は、令和７／８年需要見通し（精米）のうち、令和７年７月から令和７年８月までの２か月分は令和６年産精米歩留りで算出し、令和７年９月から令和８年６月までの10か月分は令和７年産精米歩留り（見込み）で算出した合計値である。

表３　令和７／８年の需要見通し（推計値）

令和７／８年	精米ベース	624万精米トン～631万精米トン
	玄米ベース	697万玄米トン～711万玄米トン

注：今後、とう精数量・精米歩留りの実績を踏まえた推計を充実させ、この推計をベースに需要量の見通しを算出する方向で検討します。

３　令和７年産主食用米等の生産量の見通し（推計値）

主食用米等の生産量については、６月末時点の水田における作付意向面積や直近の単収、８月15日現在の10ａ当たり収量の前年比見込みを考慮して、幅をもって設定することとします。

具体的には、生産量の見通し（玄米ベース）は、都道府県別に、作付意向（令和７年６月末時点）の面積に、令和６年産の10ａ当たり収量及び令和７年産水稲の８月15日現在における10ａ当たり収量の前年比見込み（最小と最大）を乗じて算出し、都道府県別の最小値と最大値をそれぞれ合計して算出します。

生産量の見通し（精米ベース）は、精米歩留りの変動を考慮し、生産量の見通し（玄米ベース）に、想定される精米歩留りの直近５年最小値及び直近５年平均値を乗じて算出します。

結果は、表４のとおりとなります。

表４　令和７年産主食用米等の生産量の見通し（推計値）

令和７年産	精米ベース	645万精米トン～668万精米トン
	玄米ベース	728万玄米トン～745万玄米トン

４　令和７／８年の需給見通し

令和７／８年の需給見通しは、表５のとおりです。

【精米ベース】

⑴　供給量

①　令和７年６月末の民間在庫量（速報値）は、140万精米トンです。

②　令和７年産主食用米等の生産量は、645万精米トンから668万精米トンと見通されます。

③　令和７／８年の政府備蓄米供給量は、21万精米トンの見通しです。

④　この結果、令和７／８年の主食用米等の供給量の合計の見通しは、807万精米トンから829万精米トンとなります。

⑵　需要量

令和７／８年の主食用米等の需要量の見通しは、624万精米トンから631万精米トンです。

⑶　令和８年６月末の民間在庫量

令和８年６月末の民間在庫量は、⑴の供給量及び⑵の需要量から算出して、176万精米トンから205万精米トンと見通されます。

【玄米ベース】

⑴　供給量

①　令和７年６月末の民間在庫量（速報値）は、157万玄米トンです。

②　令和７年産主食用米等の生産量は、728万玄米トンから745万玄米トンと見通されます。

③　令和７／８年の政府備蓄米供給量は、24万玄米トンの見通しです。

④　この結果、令和７／８年の主食用米等の供給量の合計の見通しは、908万玄米トンから926万玄米トンとなります。

⑵　需要量

令和７／８年の主食用米等の需要量の見通しは、697万玄米トンから711万玄米トンです。

⑶　令和８年６月末の民間在庫量

令和８年６月末の民間在庫量は、⑴の供給量及び⑵の需要量から算出して、198万玄米トンから229万玄米トンと見通されます。